

# 21日 土曜

## コリント I

10:1 そこで、兄弟たち。私はあなたがたにぜひ次のことを知ってもらいたいのです。私たちの先祖はみな、雲の下におり、みな海を通つて行きました。

10:2 そしてみな、雲と海とで、モーセにつくバプテスマを受け、

10:3 みな同じ御靈の食べ物を食べ、

10:4 みな同じ御靈の飲み物を飲みました。というのは、彼らについて来た御靈の岩から飲んだからです。その岩とはキリストです。

10:5 にもかかわらず、彼らの大部分は神のみこころにかなわず、荒野で滅ぼされました。

10:6 これらのことが起こったのは、私たちへの戒めのためです。それは、彼らがむさぼったように私たちが悪をむさぼることのないためです。

10:7 あなたがたは、彼らの中のある人たちにならって、偶像崇拜者となつてはいけません。聖書には、「民が、すわっては飲み食いし、立つては踊つた。」と書いてあります。

10:8 また、私たちは、彼らのある人たちが姦淫をしたのにならって姦淫をすることはないようにしましょう。彼らは姦淫のゆえに一日に二万三千人死にました。

10:9 私たちは、さらに、彼らの中のある人たちが主を試みたのにならって主を試みることはないようにしましょう。彼らは蛇に滅ぼされました。

10:10 また、彼らの中のある人たちがつぶやいたのにならってつぶやいてはいけません。彼らは滅ぼす者に滅ぼされました。

10:11 これらのことが彼らに起こったのは、戒めのためであり、それが書かれたのは、世



Bible Reference  
聖書の記述

の終わりに臨んでいる私たちへの教訓とするためです。

10:12 ですから、立っていると思う者は、倒れないように気をつけなさい。

10:13 あなたがたのあった試練はみな人の知らないようなものではありません。神は真実な方ですから、あなたがたを耐えることのできないような試練に会わせるようなことはなさいません。むしろ、耐えることのできるように、試練とともに、脱出の道も備えてください。

8章から始まった偶像の問題がまだテーマとして続いているというが、多くの註解者たちの見解です。（前章は、「偶像に関する問題も信仰の自由」いう人々に対して、本当の自由とは何かを説いており、その流れで働き人の報酬や宣教についての真理にも触れていたのです。）

偶像礼拝を警戒するために、イスラエルの過去について思い起させています。教会が1つであるように、イスラエルも1つでしたが、神のみこころにかなわず滅ぼされたのです。それは偶像礼拝のためでした。

クリスチャンで像を挙む人はほとんどいないでしょうが、神以外のものを神の位置に置いてしまえば偶像礼拝ということになるでしょう。偶像を挙むのは自分の願望・欲得のためですから、神以外のものを神のようにしてしまうときも、同じように願望・欲得がまさっていいのか、警戒する必要があります。イスラエルのように姦淫、主を試す、つぶやくなどということがないかどうか警戒しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

